

2025 年度(令和 7 年度)福山市防災会議の

開催結果について

1 開催日時

2025 年(令和 7 年)6 月 24 日(火)14 時 30 分～15 時 40 分

2 開催場所

福山市役所本庁舎 3 階大会議室

3 出席委員数

39 人

4 会議の公開・非公開

公開

5 傍聴人数

7 人

6 協議事項

- ・福山市地域防災計画(基本・風水害対策編)の修正について
- ・福山市地域防災計画(地震・津波災害対策編)の修正について

7 報告事項

(1)各関係機関からの報告について

- ①福山大学「福山大学の防災に関する取組」
- ②福山市民病院「福山市民病院 DMAT の活動」

(2)福山市からの報告について

- ・福山市上下水道局「葦王雨水幹線の雨水貯留施設としての活用」

8 会議概要

(1)開会・会長挨拶

会長より開会の挨拶があった後、事務局より委員の紹介を行った。

(2) 協議事項

事務局より福山市地域防災計画の修正について説明したところ、次にとおり質疑があった。その後、事務局案のとおり承認された。

【過田委員(福山市赤十字奉仕団)】

「能登半島地震」を踏まえた修正に関して、今回の修正の後、計画に反映され、具体的な対策を進めていくと思いますが、孤立可能性集落対策として今の時点で、方向性などを教えてください。

【危機管理防災課】

能登半島地震では、インフラ途絶が孤立と災害関連死を引き起こしました。これを受け、本市でも避難所の環境整備や孤立可能な集落への対策を進めています。特に通信途絶や物資輸送の問題を重視し、全 78 集落の現地調査を実施し、自治会など関係者と協議を行いました。今後、衛星携帯電話や発電機等の配備、避難行動の見直し、11 月の総合防災訓練でドローンを用いた実地訓練の調整も進める予定です。

【過田委員(福山市赤十字奉仕団)】

わかりました。今年の 11 月に総合防災訓練でドローンを使った訓練では、どのような訓練を実施予定か教えてください。

【危機管理防災課】

現在、構想の段階ですが、孤立が想定される集落から衛星携帯電話を使って支援要請を受けて約 30 kg の医薬品などの物資を一定程度離れた公共施設から輸送する実地訓練を考えています。また、広島県や協定事業者など関係者も関わり、災害時を想定して役割分担や連絡調整を確認し、効率的な運用に繋がる訓練に取り組んでまいります。

【藤井委員(福山市女性連絡協議会)】

- Q1. 福山市街地中心部は避難所自体が水没する可能性があります、そういったところを避難所として使うことについての考え方を教えてください。
- Q2. 避難所として使われることが多い体育館は、夏の暑さが厳しいため、避難所としての利用や空調整備についてどのように考えているのか教えてください。
- Q3. 車中泊について、水没する可能性のある広域避難場所を車中泊に使うことについての考え方を教えてください。

【危機管理防災課】

- A1. 浸水の危険がある地域においては、校舎の 2 階以上や民間の立体駐車場など、浸水

の影響が少ない場所を避難所として指定しており、市民が混乱しないように周知・誘導できるよう努めています。

A2. 現在、体育館が基幹緊急避難場所に指定されている小中学校が 24 か所あります。今年度と来年度でこの 24 校の体育館に空調設備を整備しているところです。

A3. 広域避難場所は、災害時に多用途で使用できる空地として位置付けています。そのため、災害の規模や状況に応じて対応を検討することになります。車中泊についても、広域避難場所を利用可能な場所として想定していますが、災害の状況によっては浸水で使用できない可能性がある場所も含まれます。

(3) 報告事項

福山大学、福山市民病院及び福山市上下水道局から、取組の報告を行った。